

2 調査結果に寄せて

「北上市介護施設看取り実態調査報告書」から考える

北上医師会 介護・在宅緩和ケア担当理事 千葉 恭一
(ホームケアクリニックえん 院長)

日本における少子高齢化の問題、特に団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年問題が叫ばれて久しいわけですが、この岩手県・北上市も例外ではありません。平成 25 年 3 月時点で北上市健康増進課資料によると、65 歳以上の高齢者の割合は 2045 年がピークで 27% 増加する、反対に生産年齢人口は 29.1% 減少すると試算されました。つまり、これから 20 年以上は地域の高齢化が進行し、医療・介護は更なる需要増となり、当然死亡者も増えることとなります。しかし、それを支える世代は減少していくため、看取りを前提とした介護・看護が受けられる施設を増やしていくことが必要となります。

平成 28 年度の人口動態調査によると、看取りの場所については、全国で、病院 76%、自宅 13%、老人ホーム 7%、老健 2% となっています。北上市では、病院 61%、自宅 20%、老人ホーム 11%、老健 6% となっています。全国の 790 市中、地域看取り率第 6 位です。岩手県内では、施設での看取り率は第 6 位、地域看取り率は第 1 位となり、このことから北上市は、病院以外での看取りの数が全国でも高率な地域といえます。

今回の調査結果では、看取り対応について、約 70% の施設で看取り対応を行っており、小規模多機能ホーム以外では、ほぼ 100% の施設内看取りとなっています。本来は制度上、看取りが厳しいと考えられるショートステイ型施設でも少数ながら看取りを行っています。

日本医師会の地域医療情報誌システムによると、平成 28 年度医師数は北上市の場合、全国と比して医師数 92.8% です。また、入院ベッド数 76.7%、特に療養型ベッドはゼロとなっています。これは、少ない医師数で急性期入院治療を行い、本来療養型・回復期病床でみるような患者さんを、在宅や施設で受け入れてきたという事をあらわします。介護の状況では、北上市は全国と比して介護施設数 84.3%、入所ベッド数 73.7%、介護職員数 70.1% です。これは、小規模事業所が少ない介護人材で介護をしてきたということになります。つまり北上市は医療も介護も少ない人数で、地域の医療・介護を支え、しかも重度の方を看取りまで対応してきたこととなります。現在までにすでに素晴らしい実績があると考えます。

さらには、今回の調査で、現在看取り対応はしていないが、50% 以上の施設では今後対応を検討しているとの結果。住み慣れた場所で、最後まで過ごしたいという本人・家族の希望を叶えるべく、意識の高さも伺えます。

今後、高齢者施設での看取りを進めるために、「施設の方針を明確にすること、職員教育、看取り先進施設との共同研修会の開催、医療機関との連携強化」など課題はまだあります。確かに、本来の施設の役割や制度上の問題でなかなか看取りの推進が難しいことはあると思います。しかし、人生の最終段階にある方々が、「最期の時まであなたの施設で、あなた方スタッフと一緒に過ごしたい」と希望されたら、その願いに答えるために、現在の限られた環境・人材の中であっても、出来ない理由を探すのではなく、「どうしたら出来るのか？」と日々のケ

アの実践の中で、皆さんで考え最期の時まで関わり続けることが看取りに繋がるものと信じています。そのために、まずはご本人・ご家族さんと「あなたの大事にしていることは何ですか？どんな環境でどの様に過ごしたいのか？」等、日々のケアの中で皆さんがその都度話し合い、価値観を共有していけるようにしていきましょう。それが将来の意思決定支援に繋がります。また、施設職員の不安や自責の念をいかに軽減し、「最期の時までお世話できた」と看取りに関わることそのものを、職員のやりがいやモチベーションとするように、職員同士の話し合い（価値観の共有）が大事になります。そして高齢者や人生の最終段階にある方の尊厳ある最期の時の過ごし方はどうあったらよいのか、職員個人や施設単位だけでなく、本人・家族も含めて、地域社会全体で施設や在宅での看取りが抱える課題に取り組んでいく必要があると考えます。

今回の調査結果より「本人が望む場所でその人らしい人生を最期まで全うできるように支援すること」は、すでに北上市の施設の皆さんの活動の成果として現れています。さらに現状では満足はしていない皆さんもいることがわかりました。

今後、今回の調査で判明した成果と課題を、北上市在宅医療連携支援センターが中心となり、行政・医師会・介護福祉関係者と一体になって、最期の時まで穏やかに過ごせるような地域になるよう、皆さんと一緒に一層取り組んでいけることを期待しております。